

行政事務

土木部 都市計画課
平成26年度採用

職歴

H26～ 保健福祉部 地域医療課
H28～ 南会津振興局 県税部
H31～ 喜多方市役所 建設部（市町村派遣）
R3～ 土木部 都市計画課

わたしを表すKEYWORD

猫

家に迷い込んできた2匹を飼っています。出会ったときは使い古された雑巾のようにポロポロでしたが、今ではすっかり立派に大きくなりました。

ハワイ旅行

一度目は新婚旅行で、二度目は憧れの「ハワイで年越し」を実現しました。実銃射撃が出来たのも新鮮な経験でした。

インドア派

歴史好き

クラシック音楽

私は

知らないことを知ること

が好き！



安全で活力のある 地域社会の形成へ

開発許可、屋外広告物許可、盛土規制許可といった、都市に関する許認可全般の総括を行い、各建設事務所や市町村に助言するとともに、議会への対応なども行います。

国の法制度改正や、議会・市町村等の要請を踏まえ規制内容の変更を行うなど、自分の立案した政策が条例等の形になって残ることがやりがいの一つです。



県職員を目指した理由

大学生時代に研究の一環で東日本大震災の余波で外遊びができなくなった子供たちとキャンプを行うNPO法人に協力しました。

その際、若い世代に向けて何かできることはないかと熱意が湧き、県職員を目指そうと思いました。

とある一日のスケジュール

- 8:30 始業
- 9:00 メールチェック
- 10:00 総室内答弁調整
- 11:00 議会情報の共有作業等
- 12:00 昼休み
- 13:00 メールチェック
- 14:30 部内答弁調整
- 15:00 答弁修正作業
- 16:00 総室内答弁再調整
- 17:15 終業



サポート職員として心がけていること

対話を重視しています。特に政策について議論する際には、決まり事を淡々と教えるのではなく、新規採用職員がその政策についてどのような意見を持っているのか聞くようにしています。自分の意思を言葉にできる力を養ってもらおうと同時に、新しい視点が現行ルールの改善の気づきを与える時もあるので、対話を大切にしています。

福島県職員として実現したいこと、目標としていること

福島県の復興・再生のゴール地点は、身近な場所で発生した問題と解決の積み重ねの先にあると思います。私は市に出向した経験から、県民に身近な市の立場と、市町村を支援する県の立場の両側から、行政を見つめる機会を得ました。この経験を生かし、将来的には県と市町村との間を橋渡しし、円滑な協力関係を築くことのできる人材になりたいです。



受験者への
メッセージ

私自身、実際に入庁するまで県庁職員がどんな仕事をしているのか全然分かっておりませんでした。そんな私でも「なんとかなれ〜」の気持ちでここまで来ることができましたので、未知を恐れず飛び込んでみてください！